臺灣日日新報 昭和十八年十一月二十七日（土曜日） 第一万五千七百十二號 (一)

重要政策を先議確定

必勝完成を目途に豫算化

八百四十四名を縮減

臺灣總督府の減員決る

敵機新竹に來襲

海鷲邀撃三機を撃墜

敵の覗ひは神經戰

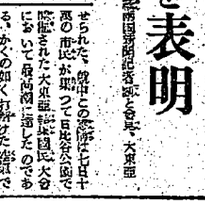
必勝信念で頑張れ

山本務總長島民に警告

印度の自由無くして

亞細亞の自由無し

比島で十億の結束說く



バーモウ氏

大東亞共同宣言こそ

十億の感情を表明

英米こそ戰爭挑發者

井口前駐米大使歸朝談

長江上流進擊作戰

舟橋を渡り進擊する○○砲隊

近衞師團長

赤柴中將補せらる

定例閣議

閣議決定事項

富士

大東亞戰爭

第三年の決意

社說

眞の防空態勢は精神から

前列なる我國の現實に照して、防空に關する施設の現實に就きては從來に於ても相當に力を盡して來たことは事實であるが、尚ほ我國の防空態勢は眞の防空態勢と稱するには餘りに遠いものがあると言はねばならない。防空に關する施設の充實は勿論必要であるが、それ以上に必要なことは國民一人一人の防空に對する精神的覺悟である。

防空に關する施設の充實は、國民一人一人の防空に對する精神的覺悟の上に立つて、始めて眞の防空態勢と稱し得るのである

臺灣神社 天照大神を奉祀 督府當局、愼重に詮議

あゝ……この日本魂！ 追ひつめ、體當り

痛憤 石井伍長散華

發揚せよ、敵必殺の闘志を 小泉厚相 徴用援護の意義を強調

擧げよ、增産の凱歌

内地に、まけないたのもし、增産陣

大東亜新聞大會代表者一行、陸軍士官學校見學

夜間對空監視に萬全を期す

前線の兵隊さんへ 小さな手に眞心の作品

猛撃また猛撃 大激戦を展開

模寫電報、東京・新京 來月一日から取扱開始

印度國境へ進駐近し ボース氏、昭南で聲明

青年學校教員を錬成 臨時養成講習會開催

「尿の病」と「性病」を「家庭で治す」 藥草の自撰法

船員へ感謝週間

敵地區から和平の聲 狼狽する 走狗蔣介石

最後の勝利へ

社名變更謹告

會葬御禮 大陸兵之進

會葬御禮 福田祐一

國民徴用 醫師の徴化 者は忠誠 を盡しませ

戰時だ働かう 冷症・神經痛・リウマチス 各種皮膚病・溫泉風呂に ミネラール 臺北州賣藥製造工業組合

鮮味乃元の好味 液體調味料 東興調味料製造社

健康報國 外泌尿器 放射線科科 福島外科醫院 臺北市 有用

齒科 本川醫院 臺北市 本川

臺灣金屬回收統制株式會社 新社名 臺灣故銅鐵屑統制株式會社 本社 臺北市御成町三丁目十六番地

軍用大建築展覽會

開催の意義と著方針（上）

軍需工業動員

民間人の職能活用

米海空軍の編成ぶり

戰時體制化を許さぬ

決戰貯蓄强調運動

女子の初陣天晴れ

竹藤非常徴發の成果

「錬成新竹州の構想」

玄米食行商のお姿さん

軍需工業動員

結核療法の新道

國民皆兵に翻然

硬貨回收

獻金報國赤誠

夕刊 臺灣日日新報 臺灣昌新報
昭和十八年十一月二十七日（土曜日）
（第一種）（昭和十一年五月九日第三種郵便物認可）
十一月二十七日

敵機ビルマに蠢動

我が邀撃に多大の損害

【ラングーン二十六日発同盟】在ビルマ英空軍のビルマ出撃は著しく活発化の兆を示し最近一週間に於ける連日連夜の如く敵機は我が航空基地並に軍事施設に対し波状的に来襲し執拗なる攻撃を加へ来つたが我が邀撃戦闘機隊の活躍により敵機の大半は我が防空網を突破することが出来ず我が方の損害は僅少に止まつてゐる、即ち二十五日午前十一時半頃ビルマ中部ミンガラドン飛行場に来襲した敵機は約三十機の戦闘機と爆撃機であつたが我が邀撃戦闘機隊の猛攻撃により敵機は爆弾投下後算を乱して逃げ去つた、この戦闘で我が方の損害は僅かに戦闘機二機が未帰還となつたのみである、敵は二十六日午前十時半頃ビルマ中部ミンガラドン飛行場に約三十機の戦闘機と爆撃機を以て来襲した

起て出陣の秋は來た

光榮・徴兵の魁部隊へ

適格青年の用意はよいか

昭和十九年度に入ると共に大東亜戦争の第二年目に入るべき戦局下我が陸海軍の徴兵適齢者は一斉に現役兵として入営する筈になつてゐる。本島青年諸君も今こそ起つて軍隊が國家へ本格に御奉公出來るのは今日この秋においてないので訓練の徴集つづく大東亜の戦場に二日も早く現役に立ちたいと念ずる者多く、これらの熱烈の志願者たちには今回の徴兵適齢者に優先的に徴兵の栄誉を與へ心ゆくまで御奉公出來るやう取計ふといはれるのだ、一般未経験者たちに比つても最初として大東亜戦場に間に合はないやうな事かしいが決められてゐるのである。それは昭和十九年十二月一日から二十日迄徴兵検査を實施し翌二十年一月十日迄に入営する筈になつてゐるが、本島青年たちの間には昭和二十年の徴兵検査迄は待ち切れないので訓練の徴集つづく大東亜戦場へ一